

研究協力のお願

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

肺癌手術後の早期離床を阻害する要因と術後リハビリテーション進行との関連性の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2023年4月1日から2024年3月31日までに、昭和大学横浜市北部病院呼吸器外科において肺がん手術を行った患者さん方

2. 研究目的・方法

ロボット支援にて肺がんの手術後には、早期リハビリテーションが非常に重要です。そのためには、手術後の全身状態を適切に管理する必要があります。肺癌手術後の理学療法に関連して、早期離床を阻害する要因や、歩行自立の遅れに関連する報告はありますが、術後1日目の離床の状況やその後のリハビリテーションの関連性についてはまだ明確にはなっていません。このため、本研究では、肺癌手術後の患者さんにおける術後1日目の離床の状況、術後リハビリテーションの進行状況、およびリハビリテーションを阻害する要因を調査し、手術後のリハビリテーションをより安全に進めるための方法を検討することを目的としています。本研究では、昭和大学横浜市北部病院に入院された患者さんの診療録データを利用します。具体的には、2023年4月1日から2024年3月31日までの期間に同病院の呼吸器科で行われた肺がん手術の患者さんのデータを分析します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの背景情報(年齢、性別、身長、体重、診断病名、手術名、現病歴、既往歴)、手術前の呼吸機能検査に関する情報、手術に関する情報(術中のIN-OUTバランス、輸血の有無)、術後合併症に関する情報、術後管理状況に関する情報、術後のリハビリテーション進行状況(術後1日目の離床状況、端坐位開始日、立位開始日、歩行開始日、階段昇降開始日、リハパス完遂日、転帰)、そして術後リハビリテーションを妨げる要因を調査項目としています。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6 . 研究組織

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション室 村重美佳

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション室

氏名：村重美佳

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000 内線：7241